# 第４章　商品売買①

## ４－１　三分法

**【重要性：A】**

**ＰＯＩＮＴ！**

①　三分法の仕訳をマスターしよう！

②　前T/B・後T/Bにおけるそれぞれの勘定の意味を理解しよう！

**主な勘定科目**

「繰越商品」勘定（資産）

「仕入」勘定（費用）

「売上」勘定（収益）

全商簿記３級では、他の会社やお店が製造した商品を仕入れて、外部に販売することを前提としています（このような簿記を**商業簿記**(しょうぎょうぼき)といいます）。ここでは、商品を仕入れ、外部に販売するという商品の売買取引の処理方法を学習します。

## （１）三分法

三分法(さんぶんほう)とは、商品売買取引を「**繰越商品**(くりこししょうひん)」勘定（**資産**）、「**仕入**(しいれ)」勘定（**費用**）、「**売上**(うりあげ)」勘定（**収益**）の３つの勘定を用いて仕訳する方法です。

商品売買取引については、［17－３］で学習する分記法(ぶんきほう)という方法もありますが、問題文に特に指示がない場合には三分法で処理して下さい。

## （２）売上高

売上高(うりあげだか)とは、商品を販売したことによる**収益**であり、「**売上**」勘定（収益）で処理します。

## （３）売上原価

売上原価(うりあげげんか)とは、販売した商品の購入代金(こうにゅうだいきん)（これを**取得原価**(しゅとくげんか)といいます）をいい、**費用**の科目です。売上原価は、当期に仕入れた（購入した）商品の金額ではなく、当期に売り上げた（販売した）商品の購入代金です。売上原価は以下の式で算定します。

**売上原価　＝　期首の商品在庫(期首商品棚卸高(きしゅしょうひんたなおろしだか))　＋　当期商品仕入高**

**－　期末の商品在庫(期末商品棚卸高(きまつしょうひんたなおろしだか))**

### （４）期首商品がない場合

**例題４－１**　**@100円の商品10個を仕入れ、代金1,000円は現金で支払った。そのうち、８個を@120円で販売し、代金960円は現金で受け取った。その結果、当期末に商品200円（@100円、２個）が在庫として残っている。**

①　ボックス図

商品売買について、以下のボックス図を書くと理解しやすいでしょう。

**商　　品**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 期首商品 | 0 | 売上原価 | ∴ 800 |
| 当期仕入 | 1,000 | 期末商品 | 200 |

②　仕入時（期中取引）

商品を購入すると資産である商品が増加しますが、この商品は販売することを目的として購入した資産であり、これを販売すると売上という収益を獲得する犠牲である**費用**に変わります。そこで、三分法では販売することを想定して、商品購入時に資産でなく**費用**である「**仕入**」勘定で処理します。

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| **仕　　　入** | **1,000** | **現　　　金** | **1,000** |

③　売上時（期中取引）

商品を販売した時には「**売上**」勘定（収益）で処理します。

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| **現　　　金** | **960** | **売　　　上** | **960** |

④　決算整理前残高試算表

扱う論点に着目してもらうために、以下の決算整理前残高試算表は扱う論点に関係のある勘定科目のみを示しています。この場合、借方合計と貸方合計は一致していませんが、あくまでも一部のみを示していますので注意して下さい。

決算整理前残高試算表（一部）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 仕　　　入 | 1,000 | 売　　　上 | 960 |

⑤　決算整理（売上原価の算定）

前T/Bでは「仕入」勘定（費用）の金額は当期に仕入れた10個分の1,000円となっています。しかし、そのうち２個は期末に在庫として残っており、費用とはなりません。費用とすべき金額は販売した商品の購入金額である800円（＝@100円×８個）です。また、期末在庫200円（＝@100円×２個）は資産としての価値がありますので、資産として計上すべきです。

そこで、決算にあたり、期末商品の金額を「仕入」勘定（費用）から差し引くとともに、「**繰越商品**」勘定（資産）に計上します。

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| **繰越商品** | **200** | **仕入** | **200** |

⑥　決算整理後残高試算表

決算整理を行うことによって、決算整理後の「仕入」勘定（費用）は売上原価800円となります。また、「繰越商品」勘定（資産）は期末商品200円となります。

決算整理後残高試算表（一部）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 繰越商品 | 200 | 売上 | 960 |
| 仕入 | 800 | | |

後T/B 仕入：前T/B 1,000－期末商品200＝売上原価800

⑦　損益計算書・貸借対照表における表示

損益計算書において「売上」勘定（収益）は「**売上高**」として、「仕入」勘定（費用）は「**売上原価**」として表示されます。また、貸借対照表において「繰越商品」勘定（資産）は「**商品**」として表示されます。

損　益　計　算　書（一部）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 売上原価 | 800 | 売上高 | 960 |

貸　借　対　照　表（一部）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 商品 | 200 | | |

### （５）期首商品がある場合

**例題４－２**　**期首に商品200円（@100円、２個）があった。@100円の商品11個を仕入れ、代金1,100円は現金で支払った。また、10個を@120円で販売し、代金1,200円は現金で受け取った。期末に商品300円（@100円、３個）が在庫として残っている。**

①　ボックス図

**商　　　品**

| | |
|---|---|
| 期首商品　200 | 売上原価　∴ 1,000 |
| 当期仕入　1,100 | |
| | 期末商品　300 |

②　繰越試算表

繰越試算表（くりこししさんひょう）とは、決算において次期に繰り越される資産、負債、純資産の各勘定の残高を集計した試算表です。繰越試算表は、前期から繰り越された資産、負債、純資産の各勘定の残高を集計した試算表です。ここでは繰越商品が前期から200円繰り越されてきたことがわかればよいです。なお、詳しくは［18－３］で学習します。

繰　越　試　算　表（一部）

| | | |
|---|---|---|
| 繰　越　商　品 | 200 | |

③　仕入時（期中取引）

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| **仕　入** | **1,100** | **現　金** | **1,100** |

④　売上時（期中取引）

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| **現　金** | **1,200** | **売　上** | **1,200** |

⑤　決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表（一部）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 繰　越　商　品 | 200 | 売　上 | 1,200 |
| 仕　入 | 1,100 | | |

⑥　決算整理（売上原価の算定）

・期首商品

売上原価を算定するため、期首商品を「繰越商品」勘定（資産）から「**仕入**」勘定（費用）に振り替えます。期首商品が当期にすべて売れたと仮定するとよいでしょう。

| 借 方 科 目 | 金　　額 | 貸 方 科 目 | 金　　額 |
|---|---|---|---|
| **仕　　　　　入** | **200** | **繰　越　商　品** | **200** |

・期末商品

売上原価を算定するため、期末商品を「仕入」勘定（費用）から「**繰越商品**」勘定（資産）に振り替えます。

| 借 方 科 目 | 金　　額 | 貸 方 科 目 | 金　　額 |
|---|---|---|---|
| **繰　越　商　品** | **300** | **仕　　　　　入** | **300** |

⑦　決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表（一部）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 繰　越　商　品 | 300 | 売　　　　　上 | 1,200 |
| 仕　　　　　入 | 1,000 | | |

後T/B 仕入：前T/B 1,100＋期首商品200－期末商品300＝売上原価1,000

⑧　損益計算書・貸借対照表における表示

損　益　計　算　書（一部）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 売　上　原　価 | 1,000 | 売　　上　　高 | 1,200 |

貸　借　対　照　表（一部）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 商　　　　　品 | 300 | | |

## （6）まとめ　三分法

① 売上原価の算定の仕訳（決算整理仕訳）

| 借方科目 | 金　額 | 貸方科目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| **仕　　　入** | **×××** | **繰　越　商　品** | **×××** |
| **繰　越　商　品** | **×××** | **仕　　　入** | **×××** |

**Point! 「仕入/繰商、繰商/仕入」または「し・くり・くり・し」と覚えましょう！**
（しいれくりしょう　くりしょうしいれ）

② 前T/B・後T/Bにおける各勘定の意味

決算整理仕訳を行うと、「繰越商品」勘定（資産）と「仕入」勘定（費用）の金額が、決算整理前残高試算表（前T/B）と決算整理後残高試算表（後T/B）で異なります。

「繰越商品」勘定（資産）は決算整理前残高試算表（前T/B）においては**期首商品**の金額を表しますが、決算整理後残高試算表（後T/B）では**期末商品**の金額を表します。また、「仕入」勘定（費用）は決算整理前残高試算表（前T/B）においては当期に仕入れた商品（**当期仕入**）の金額を表しますが、決算整理前残高試算表（前T/B）では**売上原価**の金額を表します。

| | 決算整理前残高試算表 | 決算整理後残高試算表 |
|---|---|---|
| 繰越商品勘定 | **期首商品** | **期末商品** |
| 仕　入　勘　定 | **当期仕入** | **売上原価** |
| 売　上　勘　定 | **売　上　高** | |